

令和5年度咲くやこの花賞受賞者

《文芸その他部門》

## 千葉 雅也 [小説]

1978年（昭和53年）12月生まれ（44歳）



### [贈呈理由]

今年発表した小説「エレクトリック」で三島賞、芥川賞にダブルでノミネートされ、哲学者としては「現代思想入門」で新書大賞 2023 を受賞するなど、多彩な活動を展開する。学術分野で既に名の知れた存在ではあるが、小説家としても時代の描写やマイノリティーの視点、同性愛をテーマに、思索的、哲学的な筆致でリアルな生を描いた作品が高く評価されている。大阪が舞台の作品も執筆するなど、大阪の文化の発信に大いに寄与するものと期待される。

### [プロフィール]

1978年栃木県生まれ。哲学者、作家。立命館大学大学院先端総合学術研究科教授。東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻表象文化論コース博士課程修了。博士(学術)。

『動きすぎてはいけない—ジル・ドゥルーズと生成変化の哲学』(2013年、第4回紀伊國屋じんぶん大賞、第5回表象文化論学会賞)、『勉強の哲学』(2017年)、『デッドライン』(2019年、第41回野間文芸新人賞)、「マジックミラー」(2020年、第45回川端康成文学賞)、『現代思想入門』(2023年、新書大賞2023)、『エレクトリック』(2023年)など。